

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶でのひら



vol. 225通信  
R元年5月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**問合わせ・見学 大歓迎！！**  
**《利用状況案内板 (★募集中★満員)》**  
 ☆ナイス・ケア  
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)  

月	火	水	木	金	土
5	4	4	4	3	7

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 17名)  
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 10名)  
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)  
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

**《5月行事予定》**  
 3日 防災・減災コンサート  
 5日 端午の節句  
 10日 外食DAY  
 20日 避難訓練  
 21日 運営推進会議 (ナイス・ホーム)  
 31日 誕生日会  
 ※上旬：藤見  
**《不定期行事》**  
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

**《教室案内》**  
 ・和太鼓 休止中  
 ・コーラス 水曜日(月2回)  
 場所：喫茶でのひら  
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。  
 ※各教室月謝制で、定員あり。  
 詳細はお問い合わせ下さい。

**憧れて／打太鼓**  
 うちの子、2013年の藤まつりで打太鼓の演奏を見た瞬間、格好良さに憧れて打太鼓入会。めちゃくちゃ一生懸命練習して、その年の夏の宴の演奏から仲間入り。発表の場では本当に格好良くて、「見てみて〜！」と叫びたい気持ちで一杯でした。  
 ←2013年夏の宴  
 (共に右端がうちの子)  
 2018年→夏の宴  
 早いもので6年が経ち、近年は野球に打込むようになり、両立は難しく、昨年度をもって打太鼓を退会。でも、和太鼓演奏の集中力、リズム感等は何事にも活かしていると感じます。残念ながら他のメンバーも進学等により退会が重なり、現在は休止中とのこと。  
 新規メンバーで打太鼓復活を心より願っています。(Y・O)

**親子の関係／ナイス・ホーム**  
 息子さんと2人暮らしのBさん。麻痺があり、食事や排泄等、日常生活の殆どに介助が必要な状態。麻痺がある事で今まで自分で出来ていた事が出来なくなる事も多くなってきました。それでも、『頑張ってるようになりたい。』『〇〇がしたい。』と意欲的。その分、出来ない時の歯がゆさで、ついつい息子さんにきつい言葉を投げかけてしまいます。  
 息子さんはとてもお母さん思いで、食事の準備から排泄のお世話など、私たちが頭が下がるほど、細々と介護をしてみえます。そんな中、お母さんからきつい言葉をかけられると、「一生懸命やっているのに！」という気持ちにもなってしまわれる事もあるのだと感じます。訪問時、息子さんが浮かない表情をしてみえと、スタッフは声をかけます。息子さんも「それがさあ〜」とスタッフに話をしてくれます。それでも2人の間の空気がどうしようもない時は、スタッフから「通いに変更する？」と声をかけ、急遽、ナイス・ホームの通い利用へ変更する事もあります。そうやって、2人の関係性や2人の気持ちも落ち着く時間を確保してみます。  
 どの家庭でも親子ケンカはつきもの。どんなに腹がたっても、親子は親子。離れた時間があると、お互いにお互いの事が心配になり、気になり…。また、仲の良い親子に戻ります。  
 『どんなにケンカをしても、やっぱり親子。2人で自宅で過ごす時間が一番好きだ』と、Bさんは話をしてくれます。息子さんも「がんばって自宅でみてやりたいんだ」と、事ある毎に話をしてくれます。  
 お互いに同じ思いでも、在宅介護の中ではどうしても腹がたったり、投げ出したくなったりする事は多々あるはず。そんな時、ふっと力が抜ける時間をお互いに確保できるような利用方法を提案する事が私たちの役目では…。その繰り返しになるかもしれませんが、それがあから、自宅での生活が続けられるのかも…。と思う今日この頃。(Y・O)

**もしもの時も／ナイス・デイ**

「私にもしもの事があつたら、愛宕の家で頼むよ」と何年も前から口癖のように言っていたナイス・デイに通う一人暮らしのAさん。7年程前に亡くなったAさんの旦那さんも愛宕の家に4年入居され、愛宕の家で最期を迎えました。  
 そんなAさん、デイサービス利用中に体調を崩され、その度に娘さんへ連絡し、対応をお願いする事が何度かありました。そして、ついに緊急入院。入院中のAさんは、気持ちも不安定になり、1日でも早く退院させたいという気持ちが娘さん達の中で大きくなっていかれました。そんなご本人の状態と娘さんたちの気持ちもあり、状態は不安定ではありましたが、主治医やかかりつけ医の先生方とも相談し、愛宕の家へ入居が決まりました。ご家族より退院時は“今まで関わっていたスタッフが迎えに来てくれた方が安心するはず”と嬉しい言葉を頂き、スタッフも退院時の同行をさせていただきました。愛宕の家に到着したAさんは、「ここにきたらもう安心！」と何度も何度も言ってみえました。  
 日に日に回復され、今は、デイサービスの利用も再開となり、声にも張りが出てきました。Aさん、本当に元気になって良かったです。Aさんやご家族に安心してもらえたこと、嬉しい限りです。(M・O)

利用者さんとの合作 (藤棚)



ボランティアさんと一緒に盛り上がる誕生日会



SOS名物 屋根よ〜り、た〜か〜い、鯉の〜ぼ〜り〜♪



チューリップ祭り



**家族の想い／ナイス・ケア**

今、社会問題となっている高齢者の車の運転。私の離れて住む実家の父も、90歳を過ぎてやっと免許を返納しました。返納することによって困ることは、言うまでもなく買い物、通院等々…。私は、訪問介護先で配食弁当やスーパーの宅配などの利用を提案してきましたが、いざ、自分の親となると、客観的に口に出す事はできませんでした。今までは、時間を見つけては訪れた実家でしたが、定期的に行かなければならなくなりました。両親も娘である私が行く事をあてにして待っている状態。そう言えば、訪問介護でお邪魔している先でも、曜日を決めて買い物や通院の支援をしてみえる息子さん、遠くはなれたところから週に2回車を飛ばして帰宅され、買物や食事の準備をし、急いで帰っていく娘さん、その他にも様々な形で親の支援をされているご家族がみえる事を思い返しました。『親の面倒をみるのは当たり前』という考えの中で、その当たり前をこなしていく事の大変さを、実際に自分がその立場になり、家族の想いが少し理解できたような気がします。ご本人の気持ちも大切ですが、支える家族の想いにも耳を傾け、共有し、寄り添うことに関わり、そんな訪問介護を心掛けたいと想います。(H・A)

**介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況**

《段位取得者》 1~6期生  
 《申請中》 8期生(1名)  
 《評価中》 10期生(3名)



**《編集後記》** ゴールデンウィーク(10連休)はみなさんいかがでしたか？ テレビのインタビューで「私は介護。介護に休日は関係ない！」と答えてくれた50代くらいの女性がみえました。「そーだよなあ〜。年中無休か」とぼんやりと考えてみましたが、やっぱりリフレッシュする時間も必要！よい介護を提案・提供できるようリフレッシュしました！(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

5月の発送部数 104部